

# ○「笠置町で初の地区連を開催」

(京都府相楽郡笠置町第1回地区連絡会議)

担い手への  
農地利用の  
集積・集約化

遊休農地の  
発生防止・  
解消

新規参入の  
促進

その他  
(農業委員会の  
体制強化等)

## 1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年12月7日(金)10:30~11:15
- 場 所: 笠置町産業振興会館
- 出席者: 委員8人、委員以外1人
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役



山際に張り巡らされている獣害防止柵と農地



## 2 地区の特徴、状況、課題

- 笠置町の中央を東西に木津川が流れ、川の両側には急峻な山が迫っている。
- 木津川の南側をJR関西線が走り、笠置山は後醍醐天皇が挙兵、籠城した場所として知られている。
- 農地は、木津川の北側に走る国道163号と山裾の間に、帯状に水田が広がり、畑地は山間部に点在している。

## 3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 山際には獣害防止柵が張り巡らされているが、川沿いの水田にイノシシやシカが出現し、農作物被害がでている。山間部の畑地では猿の被害もあり、遊休化が進行している。
- 「現在、高齢の飯米農家が農地を守っているが、5年後、10年後はどうするのか」をテーマに意見交換を行った。
- 息子は町外に住んでいる。息子が町内に居ても、農業に関心がなく、農業をしない。
- 自分ができる間は、頑張って農地を守るが、将来、農地は消滅するだろう。
- 笠置の米は美味しい。景観を守るには米が一番適しているなどの意見がだされた。
- 委員には、いろいろな事をやったが上手くいかなかったという、あきらめ感が強く、意見の深掘りができなかった。

## 4 活動結果

- 情報・意見交換 ↑ 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援